

神戸学院大学 中期行動計画 実行計画(第4層) 2013年度達成度評価表 分野:社会貢献

		評価	理由
中期計画	1 地域連携ネットワークの確立と強化		
実行計画	(1)「社会との連携・協力に関する方針」を策定する。	B	おおむね目標に沿った対策がとられ、一定の成果があがっている。なお、社会連携部が主体となって、教職員および学生の社会貢献を促進するシステムの検討を行う必要があるのではないかと。
	(2) 地域と本学の安全を保持するために地域との連絡協議を活発化する。	B	目標に沿った対策がとられ、一定の成果があがっている。
	(3) 産学官連携、大学間連携、高大連携など、さまざまな連携事業を発展・拡大させる。	B	自治体との提携は、順調に展開している。大学間・高大連携は、一定程度の成果は見られるが、質量ともにまだ不十分である。
	(4) 地域住民の参加による大学と地域の交流の充実を図る。	B	一定程度の成果は見られるが、質量ともにまだ不十分である。
	(5) 地域の教育機関等への支援体制を確立する。	B	おおむね目標に沿った対策がとられ、一定程度の成果は見られるが、質量ともにまだ不十分である。
	(6) 大学施設の地域開放を進める。	B	おおむね目標に沿って、実績を残しているが、より多方面の施設開放を検討する必要がある。
中期計画	2 教育研究成果の社会への還元		
実行計画	(1) 社会が求める生涯学習のあり方について検討する。	B	目標に沿った施策の検討を早急に終え、具体的な提案をする必要がある。
	(2) 土曜公開講座・グリーンフェスティバルのあり方について検討する。	B	おおむね目標に沿った実績を残しているが、従来のあり方を見直し、より多くの聴衆、観客を集客するための新たな方策を検討する必要がある。
	(3) 学術講演会等の充実を図る。	C	若干の成果は見られるが、質量ともに不十分である。
	(4) 神戸学院ブランド商品・食品の開発、販売について検討する。	C	おおむね目標に沿った検討はなされているが、コンスタントに実績をあげるといふ点では不十分である。
中期計画	3 ボランティア活動の推進と支援体制の充実		
実行計画	(1) ボランティア活動参加者の増加策を強化する。	C	活動の実績を残すことで若干の前進は見られるが、より拡大を促進するためのサポート体制が整っていない。
	(2) ボランティア活動への支援策を強化する。	B	おおむね目標に沿った対策がとられ、一定の成果が見られる。

評価 S: 目標よりはるかに上回る、A: 目標をやや上回る、B: おおむね目標どおり、C: 目標をやや下回る、D: 目標をかなり下回る